

額原退藏

（大正）

國文學者、文學博士。明治二十七年一月一日長崎縣

南松浦郡北畠宮村生れ、昭和二十二年八月二十日歿（八廿一、一九四八）。

東京高等師範學校を経て、大正十年京都帝國大學文學部卒。同志社大

學教授、神戸高等女學校教授等を経て、昭和二十二年京都大學教授。

俳諧史を中心とした近世文學を研究。

著書に、高井几重著『新雜談集』（校註、大正十二年五月八日大阪・

大青堂「古俳書文庫」）、『大紙句集』（編、大正十五年八月二十日

大阪・大青堂「大青堂俳句叢書」）、『校註芭蕉俳句集』（昭和七年五

月二十日岩波書店「岩波文庫」）、『俳諧史の研究』（昭和八年五月

二十日京都・星野書店）、『蕪村俳句集』（編註、昭和十年四月二十

日岩波書店「岩波文庫」）、『俳諧史論考』（昭和十一年六月二十日

京都・星野書店）、『江戸文藝論考』（昭和十一年十一月二十日三省

堂）、『校本大筑波集』（編著、昭和十三年二月十一日京都・自刊）、

『俳諧文學』（昭和十三年七月二十日河出書房「日本文學大系」）、

『去來抄・三冊子・放牒論』（校訂、昭和十四年二月十五日岩波書店

『岩波文庫』）、『新註芭蕉俳句集』（昭和十五年九月十日岩波書店

『岩波文庫』）、『芭蕉文集』（編註、昭和十五年十一月十五日岩波

書店「岩波文庫」）、『芭蕉・去來』（昭和十六年二月二十日創元社

『創元選書』）、『蕪村』（昭和十八年一月二十日創元社「創元選

書」）、『風雅の道』（昭和十八年八月二十日七文書院）、『雀色時』

（昭和十八年十月二十日大阪・靖文社）、『俳諧精神の探究』（昭和

十九年九月二十日大阪・秋田産）、『芭蕉の名句』（昭和二十年十一月

月二十日創元社「芭蕉文庫」）、『芭蕉上人』（昭和二十一年二月一

十日生活社「日本叢書」）、『崔師の入々』(昭和二十一年四月二十  
 日京都・大八洲出版株式會社)、『江戸時代語の研究』(昭和二十一  
 年一月十日京都・白井書房)、『現代俳句の爲び』(著、藝術論への反  
 撃) (他十一名合著・孝橋謙) (編、昭和二十一年十一月十五日ふもと  
 社)、『餘情の文學』(昭和二十二年一月五日京都・白井書房)、『奥  
 の細道研究』(編、昭和二十二年九月五日京都・靖文社)、『芭蕉俳  
 句新講』(全二冊)(上巻・下巻・昭和二十六年八月十日岩波書店)、『川  
 柳雜俳用語考』(昭和二十八年五月五日岩波書店)、『江戸文藝研究』  
 (昭和二十二年一月二十八日蒲川書店)等。國文學刊行會『國文學』  
 第二號(昭和二十二年十一月十五日大阪・秋田屋)は、(穎原退藏博士  
 追悼號)。

